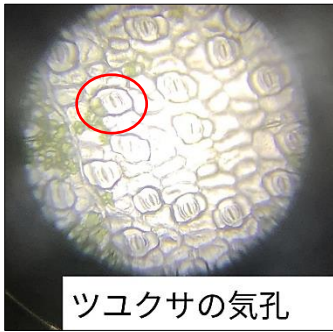
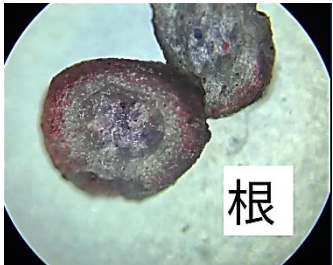
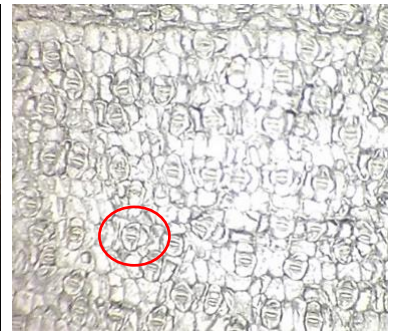


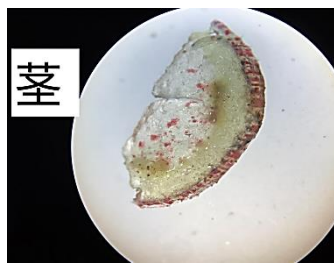
光学顕微鏡 & 双眼実体顕微鏡 フル活用!!



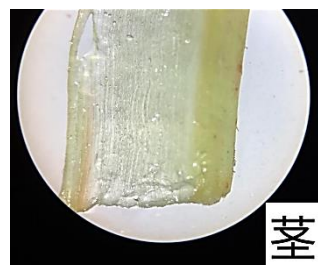
ツククサの気孔



根



茎



茎



ホウセンカの気孔



茎

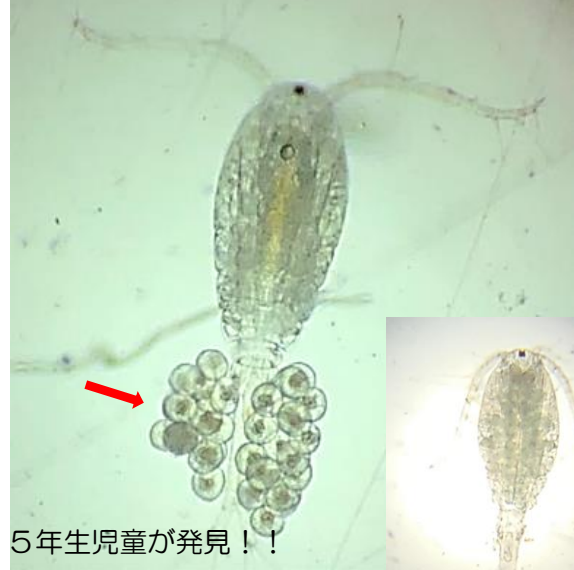


葉

円を描くようにぶつぶつと赤く染まっている部分があります。(水の通り道: 道管)

染色不足です。

ヤマトヒゲナガケンミジンコ (抱卵)



5年生児童が発見!!



ミクラステリアス (単細胞緑藻) ソウミジンコ



新しく購入した双眼実体顕微鏡でたくさんのプランクトンを見童が見つかることができました。昨年度購入した光学顕微鏡を合わせると、班に2~3台あり、2人に1台使って学習ができています。見童は、発見するたび、「いた!!」「なんか動いてる!!」「すごいこれ!!」と歓声を上げながら、夢中で顕微鏡をのぞいていました。

植物の根から吸い上げられた水は、茎を通して葉に達すると、「気孔」(中学校で学習。)という穴が葉の裏にあり、水蒸気を出します。それを「蒸散」(5年生で学習)と言います。根から葉までの「水の通り道」(小学校)を、「道管」(中学校)と言いますが、中学校の内容も少し触れながら理解を深めています。ツククサの「気孔」は、大きくはっきり見えます。葉の薄皮を丁寧にはがし、スライドガラスにピンセットで乗せます。一人一人ができるように一人一枚のスライドガラスを渡しました。